

企業として、いま、社会に伝えたいメッセージ

国民は、自宅で見殺しにされようとしている。

宝島社 企業広告 9/22(水)朝刊に見開き掲載

株式会社宝島社(代表取締役社長:蓮見清一、本社:東京都千代田区)は、企業広告「国民は、自宅で見殺しにされようとしている。」を2021年9月22日(水)に朝日新聞、読売新聞、日本経済新聞の朝刊3紙(全国版)に同時掲載しました。

弊社では、商品では伝えきれない“企業として社会に伝えたいメッセージ”を、企業広告を通じてお伝えしたいという考えで、1998年より企業広告を開始しました。宝島社は今後も、企業として社会に伝えたいメッセージを企業広告を通じて世の中にお伝えしてまいります。

【掲載媒体】 9/22(水) 朝日新聞、読売新聞、日本経済新聞 各全国版 朝刊(見開き 全30段)

緊急事態

国民は、
自宅で見殺しにされようとしている。

今も、ひとりて亡くなっている人がある。
涙がでる。
怒りと悲しみでいっぱいになる。
この国はいつから、こんなことになってしまったのか。
命は自分で守るしかないのか。



宝島社

【広告意図】

新型コロナウイルスによる医療逼迫が起きました。
新規感染者は減少しているとも言われますが、
いまも十分な治療を受けられないまま、亡くなるかたもいます。
信じられないことですが、これは現実です。
こうなる前に、できることはなかったのでしょうか。
今後、再び感染が拡大した時の対策は、講じられているのでしょうか。
この広告が、いま一度考えるきっかけになれば幸いです。

過去の企業広告はこちらからもご覧いただけます。
データもダウンロード可能です。<https://tkj.jp/company/ad>

2021年9月22日

宝島社

今年1月と5月には、「コロナウイルス」をテーマにした企業広告を掲載

▼5月11日掲載

「朝日新聞」「日本経済新聞」「読売新聞」
各全国版 朝刊（見開き 全30段）



「このままじゃ、政治に殺される。」

【広告意図】

新型コロナウイルスの蔓延から、すでに一年以上。しかし、いまだに出口は見えません。マスク、手洗い、三密を避けるなど、市民の努力にも限界があります。自粛が続き、経済は大きな打撃を受け続けています。厳しい孤独と直面する人も増える一方です。そして、医療の現場は、危険と隣り合わせの状態が続いています。真面目に対応している一人ひとりが、先の見えない不安で押しつぶされそうになり、疲弊するばかりです。

今の日本の状況は、太平洋戦争末期、幼い女子まで竹槍訓練を強いられた、非科学的な戦術に重なり合うと感じる人も多いのではないのでしょうか。

コロナウイルスに対抗するには、科学の力(ワクチンや治療薬)が必要です。そんな怒りの声をあげるべき時が、来ているのではないのでしょうか。

▼1月6日掲載

「朝日新聞」全国版 朝刊、「日刊ゲンダイ」



「感染拡大は、個人の責任だそうです。」

【広告意図】

ウイルスの存在におびやかされる毎日。さまざまな、すべきこと、してはいけないことが生まれ、日常ががらりと変化しました。

私たち市民はどう振るまえば良いのか。社会的距離をとることを求められるなか、不用意な「濃厚接触」は避ける必要があることを、“ねちよりんこ”という言葉(造語)と北斎漫画で表現しました。

ひとりひとりの自制心に委ねられた先には、どんな未来があるのでしょうか。

感染拡大を防ぐために、ひとりひとりが、いま、どう行動するべきかを考えるきっかけになることを願います。

▼1月7日掲載

「朝日新聞」全国版 朝刊



宝島社のこれまでの「広告」の一部を紹介します。～「商品」では伝えきれないメッセージを「広告」で～

<https://tkj.jp/company/ad>



2016年1月

企業広告

「死ぬときぐらい好きにさせてよ」

【受賞】

2016 読売広告大賞(グランプリ)
2015 朝日広告賞(グランプリ)
2015 朝日新聞読者賞
2016 日本新聞協会 新聞広告賞
(広告主部門・本賞)

2016 ADC賞
2016 TCC賞
読売出版広告賞(審査員特別賞)
JAA広告賞(新聞広告部門 メダリスト)
2016年度 グッドデザイン・ベスト100
2017 JAGDA賞



2011年

企業広告

「いい国つくろう、何度でも。」

「Yahoo! ニュース」TOPにも
掲載され、話題になりました

【受賞】

2011 読売広告大賞(金賞)
2011 毎日広告デザイン賞(優秀賞)
2011 フジサンケイグループ広告大賞
(メディア部門 新聞 優秀賞)
2011 日経広告賞
(出版・コンテンツ・教育部門 部門賞)



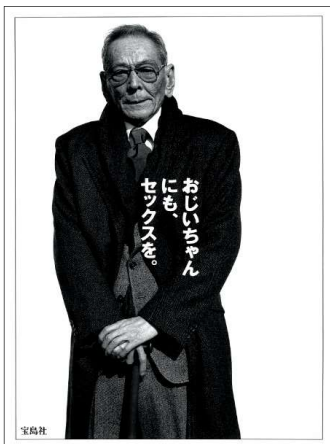
2002年

企業広告

「国会議事堂は、解体。」

【受賞】

2002 朝日広告賞(朝日広告賞)
2002 毎日広告デザイン賞
2002 日経広告賞(部門賞)
2002 TCC賞
2002 ADC賞
2002 読売広告大賞 金賞
2004 第48回 グッドデザイン賞



1998年

企業広告

「おじいちゃんにも、セックスを。」

【受賞】

1998 朝日広告賞(準朝日広告賞)
1998 毎日広告デザイン賞(優秀賞)
1998 読売出版広告賞(書籍部門賞)